



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月30日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム

上場取引所 東

コード番号 9369 URL <http://www.krs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡宗 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 一瀬 治郎

TEL 042-441-0711

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	33,886	0.1	495	139.7	598	147.9	283	—
23年11月期第1四半期	33,843	4.7	206	47.5	241	63.7	△130	—

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 452百万円 (—%) 23年11月期第1四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	22.38	—
23年11月期第1四半期	△10.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第1四半期	53,332	28,360	46.9
23年11月期	54,274	28,051	45.7

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 25,017百万円 23年11月期 24,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	8.00	—	9.00	17.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,500	△2.1	830	△12.3	820	△19.6	95	△66.0	7.50
通期	138,000	△1.5	2,100	8.7	2,090	6.0	650	32.7	51.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	12,677,900 株	23年11月期	12,677,900 株
24年11月期1Q	8,497 株	23年11月期	8,497 株
24年11月期1Q	12,669,403 株	23年11月期1Q	12,669,490 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や個人消費には緩やかな回復傾向が見られたものの、東日本大震災および原子力災害による影響、さらに欧州の政府債務危機に端を発した円高や海外景気の下振れの影響を受けるなど依然として厳しい状況で推移しました。

食品物流業界におきましては、個人消費の回復にともない物量は増加傾向にあるものの、燃料調達単価の上昇や得意先の物流費抑制および物流業者間の価格競争による受託料金の低下に加え、「食の安全・安心」に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「①物流品質の向上、②収益体質の改善、③成長分野へのシフト」をテーマとした中期経営計画を推進し、新たな価値の創造と機能の強化により食品物流ナンバーワンをめざしております。

中期経営計画最終年度にあたる平成24年度（2012年）は、「価値の創造」と「価値の見える化」する年と位置付け、「物流品質、物流人材、物流機能、物流サービス」の価値を高め、未来投資へ向けた準備をすすめております。

営業収益は、外食チェーン等の流通業を主な得意先とする専用物流取引が減少したものの、食品メーカー等を得意先とする共同物流取引が増加いたしました。また、車両販売など関連事業の売上高が伸長した結果、増収となりました。

利益面は、燃料調達単価の上昇などがあったものの、共同物流の在庫・出荷物量増による粗利益増加と保管の効率化や業務・荷役作業の合理化改善が進捗し増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は338億86百万円と前年同期に比べ42百万円（0.1%増）の増収となり、営業利益は4億95百万円と前年同期に比べ2億88百万円（139.7%増）、経常利益は5億98百万円と前年同期に比べ3億57百万円（147.9%増）、四半期純利益は2億83百万円と前年同期に比べ4億14百万円（前年同期は1億30百万円の四半期純損失）の増益となりました。

(倉庫事業)

倉庫事業収益は共同物流取引が増加し増収となりました。

利益面は固定費の圧縮に加え、保管の効率化や業務・荷役作業の合理化改善などの進捗による利益増で、営業損失が減少いたしました。

この結果、倉庫事業収益は53億3百万円と前年同期に比べ2億59百万円（5.1%増）の増収、営業損失は1億90百万円と前年同期に比べ1億79百万円（前年同期は3億70百万円の営業損失）減少となりました。

(運送事業)

運送事業収益は共同物流取引が増加したものの、専用物流取引が減少し減収となりました。

一方、利益面は燃料調達単価上昇の影響があったものの、運送業務の合理化改善進捗による利益増で増益となりました。

この結果、運送事業収益は251億6百万円と前年同期に比べ3億83百万円（1.5%減）の減収、営業利益は5億97百万円と前年同期に比べ88百万円（17.4%増）の増益となりました。

(関連事業)

車両などの販売が増加し、関連事業収益は34億75百万円と前年同期に比べ1億67百万円（5.1%増）の増収、営業利益は76百万円と前年同期に比べ28百万円（59.7%増）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億41百万円減少し533億32百万円となりました。資産の減少の主な要因は、有形固定資産の増加3億75百万円はありましたが、受取手形及び営業未収入金の減少13億3百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億50百万円減少し、249億71百万円となりました。負債の減少の主な要因は、短期借入金の増加14億74百万円はありましたが、支払手形及び営業未払金の減少13億5百万円、未払法人税等の減少3億13百万円、および未払費用等の減少による流動負債のその他の減少9億55百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加し、283億60百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加1億69百万円、その他有価証券評価差額金の増加53百万円および少数株主持分の増加75百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加し21億5百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、4億77百万円（前年同期は5億円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少はありましたが、仕入債務の減少、営業活動によるキャッシュ・フローのその他の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億89百万円（前年同期は6億22百万円の支出）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入、投資有価証券の売却による収入はありましたが、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、10億72百万円（前年同期は45百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は、運送業務や保管の効率化などの合理化改善を引き続きすすめていくものの、節約志向が持続する個人消費の影響で既存取引の在庫・出荷物量が減少する可能性と、原子力災害による電力供給の制約および電気料金引き上げの影響、足元で上昇している燃料調達単価の動向が不透明であると考えております。

現時点では平成24年1月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989	2,105
受取手形及び営業未収入金	15,612	14,309
商品	207	186
貯蔵品	66	92
その他	1,863	1,767
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	19,733	18,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,107	7,002
機械装置及び運搬具（純額）	2,606	2,663
工具、器具及び備品（純額）	175	326
土地	14,678	14,678
リース資産（純額）	1,444	1,517
建設仮勘定	276	476
有形固定資産合計	26,289	26,664
無形固定資産	329	314
投資その他の資産		
投資有価証券	1,251	1,297
敷金及び保証金	3,648	3,613
その他	3,061	3,026
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	7,921	7,898
固定資産合計	34,540	34,877
資産合計	54,274	53,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	11,479	10,174
短期借入金	2,904	4,379
未払法人税等	578	264
賞与引当金	664	746
役員賞与引当金	70	20
災害損失引当金	54	52
圧縮未決算特別勘定	379	379
その他	5,357	4,401
流動負債合計	21,489	20,417
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	639	492
退職給付引当金	578	556
その他	3,015	3,004
固定負債合計	4,733	4,553
負債合計	26,222	24,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	16,519	16,689
自己株式	△11	△11
株主資本合計	24,781	24,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	77
為替換算調整勘定	△20	△10
その他の包括利益累計額合計	2	66
少数株主持分	3,268	3,343
純資産合計	28,051	28,360
負債純資産合計	54,274	53,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
営業収益	33,843	33,886
営業原価	32,747	32,493
営業総利益	1,095	1,392
販売費及び一般管理費	889	897
営業利益	206	495
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	2
受取賃貸料	21	22
排ガス規制助成金	2	0
負ののれん償却額	3	1
デリバティブ評価益	105	91
その他	30	20
営業外収益合計	168	141
営業外費用		
支払利息	17	13
貸与設備諸費用	11	13
持分法による投資損失	100	0
為替差損	—	7
その他	4	3
営業外費用合計	133	38
経常利益	241	598
特別利益		
固定資産売却益	11	10
投資有価証券売却益	1	32
特別利益合計	13	43
特別損失		
固定資産除売却損	17	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
特別損失合計	178	10
税金等調整前四半期純利益	75	631
法人税、住民税及び事業税	182	268
法人税等調整額	△11	△18
法人税等合計	170	250
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△95	381
少数株主利益	35	97
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△130	283

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△95	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	59
為替換算調整勘定	△0	11
その他の包括利益合計	30	71
四半期包括利益	△64	452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107	347
少数株主に係る四半期包括利益	43	104

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	75	631
減価償却費	693	666
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	151	81
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7	△22
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△62	△49
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△2
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	17	13
持分法による投資損益 (△は益)	100	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△32
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11	△10
有形固定資産除却損	16	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	161	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,989	1,305
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4	△4
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,978	△1,470
長期未払金の増減額 (△は減少)	△55	—
その他	△32	△1,008
小計	1,057	101
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△15	△12
法人税等の支払額	△564	△577
法人税等の還付額	12	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	500	△477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△623	△714
有形固定資産の売却による収入	21	15
資産除去債務の履行による支出	—	△8
無形固定資産の取得による支出	△49	△1
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	20	69
貸付けによる支出	△4	△8
貸付金の回収による収入	14	161
その他	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622	△489

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	450	950
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△192	△122
割賦債務の返済による支出	△1	△0
リース債務の返済による支出	△78	△110
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△101	△114
少数株主への配当金の支払額	△29	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	45	1,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△74	115
現金及び現金同等物の期首残高	2,636	1,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,562	2,105

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫事業	運送事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	5,044	25,490	3,308	33,843	—	33,843
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	43	108	204	356	(356)	—
計	5,088	25,598	3,512	34,199	(356)	33,843
セグメント利益又は損失(△)	△370	509	47	186	20	206

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫事業	運送事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	5,303	25,106	3,475	33,886	—	33,886
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	49	105	302	457	(457)	—
計	5,353	25,212	3,778	34,343	(457)	33,886
セグメント利益又は損失(△)	△190	597	76	482	12	495

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。